

1. P. S. Doc No. 3331 - Clear

(海軍情報部記録ヨリ) — 太平洋艦隊及大西洋艦隊全隊報告 一九四一年 USS ホーネット、
植海日誌 一九四一年十一月

「アメリカ合衆国艦隊」：一九四一年十一月七日現在、航空母艦及其飛行機数					
	VSB / 航空母艦	VSF / 戦闘機	VF / 戦闘機	VS / 偵察機	計
I. 大西洋艦隊					
CV/航空母艦/「リ-フオ-2, 「グ-サ-2」	31	6	36	4	82
CV/「エ-19」(大西洋岸)	19	18	27	3	72
CV/「ウ-ス」(大西洋岸)	19	18	27	3	72
(CV「コ-クワン」同機数)					
計 大西洋艦隊	69	42	90	9	226
II. 太平洋艦隊					
CV「サラトガ」(西岸)	43	12	27	3	90
CV「キサン」(真珠湾西部)					
(CV「サラトガ」同機数)	43	12	27	3	90
CV「エンタフ-ライズ」(真珠湾西部)	37	18	27	3	90
計 太平洋艦隊	123	42	81	9	270
* 合計 大西洋及太平洋艦隊	192	84	171	18	496

米註 1) CV「ホーネット」(「リ-フオ-2, 「グ-サ-2」)ハ一九四一年十月二十日就役シ、然レドCV「エ-19」同ニ構成、夏ヲ有シ其
飛行隊ハ十一月二十三日マデ其搭載機ヲサレナカッタ。
2) CVE/護衛空母/「ロ-クアイランド」(大西洋岸)ハ就役中デアツタガ、戦艦航空母艦トシテ区分サレナカッタ。同艦ハ戦争中、
航空機輸送ニ用セラレタ。同艦ノ飛行機数ハVF/戦闘機/大機及VS/偵察機/十機カラ成、ナリ。

海軍文書第九号
原本

コロンビア地區
ワシントン市
SS

宣誓供述書

余、アメリカ合衆國豫備海軍中佐、認識番號第
五六一三五號、ハーバート M. ハート (Herbert M. Hart) ハ先づ
法律に従ひ宣誓シタル後、如く供述スル。

余ハコロンビア地、ワシントン、海軍省海軍法務局
長、モトニ現役勤務中デアル。

余ハ「コロンビア」地、ワシントン、國家戦犯部ト艦船局及
海軍作戦局ヲ含ム多数海軍省各局ト間、連絡將校デ
アル。右、内海軍作戦局ハ海軍情報部ヲ包含スルデアル。右
連絡將校トシテ、余ハ公的資格ニ於テ余ハ日本東京、連合軍
最高指揮官、總司令部、極東國際軍事裁判所、國際
檢察部ヨリ極東國際軍事裁判所ニ既ニ證據トシテ
受理サレアル或種ノ書類及以下ニ挙ゲラレタル他ノ書類ヲ
審査シ且右凡テノ書類ニ記載サレタル事柄ニ関スル公的情報
ヲ「アメリカ合衆國海軍」ヲ入キスルヨリ要求セリ。前記要求
ニ從ヒ、余ハ A 表、B 表及 C 表トシテ以下ニ引用セラレタル或種ノ
書類ヲ作成スルニ当リ、アメリカ合衆國海軍省内各種ノ官
憲ノ意見ヲ徴シ且「コロンビア」地、ワシントン、海軍省
艦船局、艦船統計課擔任ノ生産分析者、アルバート B.
レイ氏 (Mr. Albert B. Ray) ト共ニ働イタ。

余ハ公的資格ニ於テ余ハ右「レイ」氏 (Ray) 氏、既ニ作成セル

J.P.S. doc. No. 3351

ノ書類ヲ審査シタカ、右ノ内、一九四七年一月三十三日附テア
辯護側書類第五九六號トシテ提出セシ、法廷書證第三〇一
號トシテ證據トシテ受理セリ。他ノ書類、一九四七年四月三日附テ
辯護側書類第五九七號トシテ提出セシ、法廷書證第
三〇三號トシテ證據トシテ受理セリ。余ハ「アメリカ合衆國海軍
」ヨリ使用セリ且前述法廷書證第三〇一號及第三〇三號ニ於テ
引用セリ用語、定義ヲ十分ニ就知シ居ル。

余ハ又一九四七年十月七日現在米日海軍保有艦艇比較表
ト題ス辯護側書類第五七二號トシテ提出セシ、法廷書
證第三〇三—A號トシテ證據トシテ受理セリ書類ヲ審査
ス。余ハ又一九四七年十月七日現在建造中ノ米日艦艇比較
表ト題ス辯護側書類第五七三號トシテ提出セシ、法廷書證
第三〇三—B號トシテ證據トシテ受理セリ書類ヲ審査ス。余
ハ又一九四七年八月十五日附テ、辯護側書類第二〇八二號ト
シテ提出セシ、法廷書證第三〇三號トシテ證據トシテ受理セ
リ吉田英三ノ宣誓供述書ヲ審査ス。余ハ又一九四七年八月二十
二、二十五兩日附國際軍事裁判速記録二六六〇頁乃至二六六
五〇頁ヲ審査ス。

P. 2

更ニ進テ余ハ一九四七年五月一日附吉田英三依リ署名セリ
ル書證第三〇三—A及第三〇三—B、證明書ヲ審査ス。其
證明書ノ何レモ、以下、陳述ガナリキ。即チ「アメリカ合衆
國艦艇及噸教ノ資料、ゴロンビヤ、地巴、ワシントン、アチ、合衆
國海軍者、認證記録ヲ採リ、余ハ上記図表ガ眞實且正確
ナルコト更ニ證明ス。吉田氏、尙、前述證明書中ニ於テ引用

J.P.S. Doc. No. 3351

P. 3

サリ。書証第三〇〇三-A 號及第三〇〇三-B 號作成ニヨリ使用サレ
「アメリカ合衆國海軍資料ハ」「アメリカ合衆國海軍艦艇」關ス
ル「アメリカ合衆國海軍有、或一部公文書」……シカラ採ルニ
ト書証第三〇〇三號及本裁判所ニ於テ記言中(二六六六頁)ニ
於テ意味ヲナシ。吉田氏、彼が「アメリカ合衆國海
軍有、記言記録」及「アメリカ合衆國海軍有、公文書」本條
ヲ未明ニナシ。然レテ、若干、数字、類似、改テ以テ彼ハ
是書証第三〇〇一號及第三〇〇二號ヲ未引用ニシ。吉田氏
又書証第三〇〇三-A 號及第三〇〇三-B 號ニ於テ「アメリカ合衆國海
軍、資料」提スニヨリ彼ニヨリ使用サレ、専門語、意義ヲ未
記明書ヲ作成ス。此、記明書、一九四七年九月二十六日附テ、本
書ニ添附サレナシ。

書証第三〇〇三-A 號及第三〇〇三-B 號ニ彼、比較表ニ添
附サシ。吉田氏、記明書、彼が「アメリカ合衆國海軍有、記録」
ヲ提スナシト述べ、ナシトシ、於テ正確ナシ。何故、ハ彼ハ
「アメリカ合衆國海軍、資料」項目分類別ニ提スナシナシ
「項目分類別」前記、書証第三〇〇一號及第三〇〇二號ニ於テ使
用サ、且、ナシナシ「アメリカ合衆國海軍、資料」項目
分類別ト異ナシ。二書証及彼、陳述ニヨリ明ナシ。
アリ。

「レイ」(RAY)を用いた語の意味上、固来語と意味を古田氏が使用した語に次のように含めたい。「保有量」「建造中」「其他」「アタリ」(合衆國海軍省及び「レイ」の書証第三。一)号及び第三。〇二号を作成した語を使用する如き語、定義を次の如くする。

保有量。「保有」。艦艇上の造船所或は改造所より完成したものを海軍より引取られたものを喪失又は売却した破壊されたもの等或は其他の処分せられたものと考へる。

此の義に於て或は艦隊勤務に編入するものも在り、艦艇を含むもの。又艦隊勤務用と云ふものは海軍に所属する艦艇及び雑役船を含むもの。

建造中。「建造中」。艦艇上の海軍省の建造所(工場)に二国間の条約書に規定する或は契約による艦艇を海軍省より引取られたものと考へる。此の契約中の艦艇は未だ海軍に引渡されずとも又商議定むる契約書或は教令書が準備せられていゝものを含めたい。艦艇は通常、基礎工事或は改造を完了し、政府に給付材料(機械、兵站等)を据附後二ヶ月以内に艦隊勤務に編入する海軍に引取らる。又艦隊勤務用と云ふものは海軍に所属する艦艇及び雑役船を含むもの。

其他。「其他」。艦艇(戦闘艦艇或は十艦艇)に分類され、總て、艦艇を含む。

一九四七年九月二十六日附古田大佐の證明書中に記載されている日本海軍に使用する如き同語、定義は

J. P. S. Loc. No. 3351

P. 5

保有量 特定期日或ハ以前ニ完成シテ渡サレ艦船
ニ編入セ日本海軍ノ軍艦力務ニ就テハ概シテ準備成
リ又艦艇ノ量年々凡ソ増シタルハ明ニシ合一九四二年十二
月七日ノ保有艦艇ノ既ニ就役ニタテアリマス。

建造中。新造艦艇ノ場合ニハ特定期日或ハ以前ニ以
前ニ艦艇改造ノ作業ヲ始メタリ即チ改造又ハ改修ヲ始
メタリトモ意味スルベキアリマス。

其他 主力艦、航空母艦、巡洋艦、駆逐艦、潜水艦、
除艦、掃雷艦、小艦艇、凡ソ艦艇ヲ含ミ居タル一九
四二年十二月七日日本海軍ノ分類ノ其他ハ以下ノ型
ノ艦艇ヲ成リ立テ居リマス。即チ水上機母艦、潜水母艦、
水雷敷設艦、掃海艦、海防艦、水雷艇、砲艦、駆逐艦、
哨戒艇、海空機母艦、敷設船、及各種艦艇即チ掃雷艇、
偵察艇、海軍測量艇、水雷艇、掃海艇、工作艇、給糧
艇等アリマス。

書誌 本三〇一年及三〇二年ノ上記ノアタリ合衆國
海軍省ノ宣裁ニ依リ一九四二年十二月七日現在ノアタリ合
衆國海軍ノ情勢ヲ示ス。

一九四二年十二月十一日附前記「A」(ALBERT B. RAY)
氏ニヨリ証明セラルル「A表」「B表」「C表」と記カサ

附表ハ日本海軍ノ宣裁ニ

一九四二年十二月七日現在ノアタリ合衆國海軍ノ情勢ヲ示ス
是等前記「A」「B」「C」諸表ハ全部日本海軍ノ宣裁ヲ
使用シタルハ海軍省アリ合衆國海軍ト日本海軍トノ同

J.P.S. loc. No: 3351

P.7

一九四一年十二月七日に「アメリカ」合衆國の艦六隻、斯
格ニ完成せし戦艦六隻、艦隊ニ配属せし航空母艦三隻、
多其、航空母艦六隻、艦隊「ヨークタウン」(YORKTOWN)「ワスプ」(WASP)及太平洋
艦隊「サラトガ」(SARATOGA)「レキシントン」(LEXINGTON)
「エンタープライズ」(ENTERPRISE)なる海軍情報部記録
作成せし別紙、海軍文庫蔵九十九、是等、合計三記
又、航空母艦「ホーネット」(HORNET)は一九四一年十月二
十日「就役」シタリトモ一九四一年十二月二十五日(日本、空
母翔鳳が日本側、言ひ違ひ、就役)(書誌第九(一))
即ち砲、弾薬、航空機及乗組員等必要トサレタル如ク整
備シ、戦闘力動員ニ就クベク進出備カタル(土田、説明書
第四節より引用)翌日迄、航空隊ヲ搭載シタル
タリト指摘スル。

(次頁へ)

J. P. S. doc. No. 3351

同海軍文書に「CVE/護衛空母/ロング・アイランド」に就役中
 テアワタガ「戦闘航空母艦トニハ分類サス」ト述ベテナル。
 事實同艦ハ「戦闘航空母艦」ニ無ク「戦争中終始航空
 機ノ輸送ニ使用サレタ。ソノ全航空機数ハ「VE/戦闘機
 六機トVS0/偵察機一十機」ヲツタ。前記ノ理由デ
 「C/航空母艦/ホーネット」ト「CVE/護衛空母/ロング・アイ
 ランド」ハ右A表ニ含メシズC表ニ含メシテナリ。約言スバ「C
 /航空母艦/ホーネット」モ「CVE/護衛空母/ロング・アイ
 ランド」モ一九四一年十二月七日迄ハ「戦闘航空母艦トニハ古
 田ノ証明書ノ用語ヲ用ツバ」航空機及乗組員ヲ以
 要トサテナル如ク整備シテナカシタ。

(3) 重巡洋艦ト軽巡洋艦ノ数ニハ変更ナシ。

(4) アメリカ合衆國海軍ノ駆逐艦ト潜水艦ノ数ハ日本
 側ノ合計額決定ニ際シ吉田氏ガ用ヒタノ同意義ニスル
 為ノ所要ノ個所ニ於テハ減少シタ。

(5) 日本艦艇ノ其ノ他ノ型ハ吉田ノ表即チ書証第三。
 〇三一A号カラ変更ヲ加ヘズ置サシタモ「ナル」。一九四七年九月
 十六日附附屬證明書ニ於テ吉田ガ定義シタ「其ノ他」ト
 ル語ハ米國艦艇ニモ適用サレ此ハ為数字ハ表示「如ク変
 更サレタ」吉田氏ハ十七種ノ型ノ日本艦艇ヲ此ノ分類ニ入
 テ表ヲ作ツタ。レイ(カ)氏ハ斯カル型ノ米國艦艇ノ合計
 ヲ記入シタ。注目スベキハ日本海軍ノ其ノ他ノ語ニ「病院
 船、輸送船、海軍區所屬艦艇等」型ヲ含メ不足等

P. 8

「レイ」(Ray) 氏ハ書証第三〇二号ニ於テ、通俗的ナ、専門的ナハナイ意味ヲ用ヒテ「タル」其ノ他「ナル」項目ニ含ムコトヲ示シタル事ヲ示ス。

「一九四一年十二月」と現在太平洋地域ニ於ケル艦隊(保有ノ米日海軍艦艇比較表)ト題スル右B表ニ於テハ、日本側合計額「レイ」(Ray) 氏カ書証第三〇〇二一Aヒサカヲ変更シ加ヘズ其ノ儘寫シタルヲ示アル。然レ米國側合計額ハ海軍情報部作成ノ太平洋艦隊「レイ」艦隊公式「アメリカ」合衆國海軍艦艇記録並ニ艦船局内「レイ」(Ray) 氏ノ事務所ノ噸数記録カ、日本側合計額決定ニ際シ吉田氏カ用ヒタルト同意義ニ「保有量」ナル語ヲ用ヒテ「レイ」(Ray) 氏カ算定シタルヲ示アル。

「一九四一年十二月七日現在米日海軍建造中艦艇比較表」ト題スル右C表ニ於テハ、日本側合計額ハ書証第三〇〇三一Bヒサカ「レイ」(Ray) 氏カ変更ヲ加ヘズ其ノ儘寫シタルモノナル。然レ右A、米國側合計額ハ上記「アメリカ」合衆國海軍記録並ニ吉田氏カ日本側合計額決定ノ際使用セル「建造中」ナル語ノ意義ニ一致セシム要アル為「レイ」(Ray) 氏カ変更ヲ加ヘタル「建造中」ナル語ヲ「レイ」(Ray) 氏ハ書証第三〇〇一号並ニ第三〇二号中ニ「艦艇ノ契約締結ノ日カラスノ引渡シノ日迄」ト含ムモノトシテ用ヒタル。吉田氏ノ言フ所ニ依リ同氏ハ此ノ言葉ヲ書証第三〇〇三一B号中ニ「新造艦艇ノ龍骨据附ノ日又ハ改造艦艇ノ改造(即チ

「改造又は改装」開始、日カラ艦艇が完成ニ達シテ者アリ
艦長ヲ通シテ海軍大臣ニ引渡サセタ日迄、期間ヲ含
ミソノトニテ使用シタ由アリ。

更ニ右ニ表ニ付述べしに、建造中、尤ノ語ヲ日本式ニ使
用セシ結果ヲ記シ表更ヲ盡シタ。

(1) 戦艦 (変更なし) 合計十隻、之、一九四一年十二月七日以前、龍骨が掘附ケヌタが同日以前、三、戦闘勤務ニ就ケル準備、或、ラオカワタモノ、数、テケル。

(2) 航空母艦 合計十隻、之は一九四一年十二月七日以前
に龍骨が振附ケられたが、同日以前に、戦闘勤務に就ケル
準備が成ルニ至ラナかつた(新造又、未改造)五、即チ、
航空母艦「ホーネット」(HORNET)「エセックス」(ESSEX) ;
「ヨークタウン」(YORK TOWN)「イントレピッド」(INTREPID)
「レキシントン」(LEXINGTON)「バンカー・ヒル」(BANKER HILL)
「インディペンデンス」(INDEPENDENCE)「プリンストン」(PRINCETON)
「ベロウ・ウッド」(BELLEAU WOOD)又「カウペンス」(COWPENS)
ノ数に及ぶ。

(3) 大型巡洋艦、重巡洋艦、及輕巡洋艦ノ數ハ書證第三。一ノ、第三。二ノ及第三。三ノ子ノ舉ルモノハ夫々三隻、八隻、三十一隻カ。吉田氏ハ日本側合計額決定、際使用セルモノト同意スルニ爲、右ノ表ニ夫々〇隻、四隻、十八隻ニ減ジテナル。

(4) 驅逐艦、潜水艦ノ數モ亦、書目證第三。〇一子、第三。〇二子、第二。〇三。一に子ニ照會セリヤル夫々二。〇六隻ト九。

1. p. s. Dal. No. 3351

六隻カウ。吉田氏が日本側合計額決定、際使用セリテ、
ト同意義ニスル為、右に表ニ於テ夫々八隻ト三隻
ニ減ジラセリ。

ハーバート・M・ハート / 署名

コロンビア地区、華府ニ於テ一九四一年十二月二十九日、
余、面前ニ子署名宣誓セリ。

米國海軍中佐

ジョセフ・O・クリン / 署名